

おおつならではの就労支援の新事業 「スコラ」から学ぶ



大津ならではの…

自立訓練（2年）+就労移行（2年）=「スコラ」
びわこ学園 やまびこ支援センター れもん会社

「スコラ」とはラテン語で学ぶを意味します。
一般高校生 → 大学（あるいは専門学校）へ
しかし…
特別支援学校 → 18才～企業へ

→ 4年間で社会人としての基礎を学び作る場
それが「スコラ」
・働くためのルールやマナー
・生活のあり方
・余暇の楽しみ方を知り学ぶ

障害のある人たちにも様々な経験が必要
その体験の場と機会を作るのが
私たちの仕事ではないか？

彼らが働くための準備をできる場所を
地域の中に、地域で共働して作ろう
実践の中「働く人づくり」をして
支える人や仕組みを作る！

信楽通勤寮という施設が。常に利用者に
働くことは、生活することは、あなたは
どう生きるのか問いかけていた

昔

平成25年度 甲賀地域障がい児者サービス調整会議

就労支援部会研修

平成25年8月26日 16:30~18:30
会場 湖南市 サンライフ甲西 参加者 43人

テーマ

「働く人づくり」「支える人づくり」



滋賀県福祉人材確保補助金事業を活用し
地域の福祉・教育・労働機関や企業が集まり
我々の仕事の意義と役割を学ぶ機会としました

就労支援部会 大槻部会長

参加者の声

- A なぜ働かなければならないのか？
どうしたら働く意欲が継続できるのか？
- B 学校の中、作業所の中で就労に
向けた取り組みを見直したい
- C 実習や経験する中でどのように対応
するのが良いのか考えることを身につける
ことが大切、その機会や場を提供が必要
- D 今ある作業所制度を活用し、ないものを
作っていこう
- E 就労を応援する。支える福祉と教育（学校）
と雇用する企業が地域で手をつなぎ
働くための学びの場を作ることが大切

（アンケート当日の研修報告中の参加者の声）

